

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	のびのびの木			公表日	7年 2月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	広さは十分にあるので必要に応じてパーティションを使用してエリア分けなど行っています	必要があれば定員に応じて使用できる広さを見直します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100	0		必要に応じて保育士や福祉資格、教員免許取得者などの有資格者を募集していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0	子どもの目線に合った高さでの掲示物や板書の高さ等の対応をしています	事業所内の設備は対象児に応じて配慮をしています。トイレの入り口に段差はありますが、現状では支障はないので、今後も必要に応じて対処していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83.3	16.7	子どもが帰宅後、掃除機、拭き掃除、消毒を行い感染症対策も併行しておこなっています	子どもに提供する文房具類の収納棚の整理をもう少しこまめに実施していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	申し出に応じてクールダウン室が使用できます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0	年間行事や月単位の療育メニュー等、計画の立案、実施、評価、改善という手順を踏んでいます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83.3	16.7	保護者評価で意見のあがった内容に関して対応可能な場合は保護者の意向に添えるよう対処しています	引き続き保護者の意向に添える形で改善の検討に努めます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	朝夕礼や職員会議等、各人が意見を述べる機会が設けてられています	子どもたちへのサービスの質が下がることなく、効率化が図れる業務は見直していきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50	50		外部評価は行っていません。現状では事業所評価を行いその結果に基づいて事業所にて改善を図り、安定したサービスの質を維持しています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	関係各所からの研修案内は回覧をしています。参加希望者がいない場合は事業所より1名は選出するようにしています。虐待等の研修は毎年外部講師を招いて行っています	引き続き研修の機会を確保しながら、専門性の向上を図っていきます
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0		ホームページ等にも掲載します
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0		保護者や関係機関、医療情報等を用いて情報や課題の整理を行い、放課後等デイサービス計画書を作成しています
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	モニタリングは担当の児童指導員が関わり、また策定会議に基本は参加します	

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0	ファイリングされ共有されています	計画の見直し時期など見落としがないよう全体に伝達等をしていきます
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0	事業所で統一したアセスメントシートを使用しています	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	「地域支援・地域連携」は個々に応じて異なりますが、他の3つは適切に設定をしています	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83.3	16.7	前月に翌月のプログラムを主担当の児童指導員と児発管が案を練り、実施前に全員で共有しています	引き続き子どものニーズに沿って活動プログラムを設けて行きます
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	子どもの課題や発達を見ながら、療育教材等から選定したり、社会的課題や時節等を盛り込んだ題材のメニューを設けたり、毎月新しいメニューが必ずあります	基本活動は曜日ごとに特色を振り分け、毎日の活動メニューが固定化しないようにしています。また年度毎に特色をリニューアルしています
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	朝礼で前日（前回）利用の時の個々の状況を確認し、ひとり一人の課題やコンディションに合わせて個別・集団活動を提供しています	子どもの年齢やニーズに応じて個別と集団活動が利用できるように準備しています
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	丁寧に行っています	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	夕礼にて情報共有を行い、翌日の支援に繋がられている	毎日夕礼にてその日の利用児の状況、支援の振り返りを行っています
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	利用時の関りや、子どもの様子、サービス提供の内容等、記録をとっています。またそれら経過記録に基づいてモニタリング時に支援内容も検討しています	毎月の職員会議での支援の検証も引き続き行っていきます
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	半年に1度（必要な場合はその都度）、保護者や必要に応じて関係機関にも出席してもらいモニタリングと今後のニーズの確認をしています。ケース担当からは子どもへの聴き取りを行っています	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100	0	身辺自立や社会スキル、余暇の過ごし方、芸術・創作活動、社会資源の活用等、子供の将来の各場面での選択肢が幅広くなるよう努めて取り入れるようにしています	ガイドラインに則って行います
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	発達年齢に見合うリスクの範囲で選択肢を設けそれぞれが選べる機会を設けるようにしています	将来の生きる力に繋がるよう自己決定の機会は適切に取り入れていきます
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	基本、児発管は出席するようにしています	児発管以外にも通常業務に差し支えない範囲で担当職員も参加が出来るように配慮します
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0	子どもの健全な成長発達のために必要な関係機関と連携を図っています	子どもによって関係機関先は異なりますが、子どもを取り巻く社会環境の1つとして役割を担っていきます

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83.3	16.7	特に要対協のケースでは必要に応じて連絡を受けたり、させてもらっています	年度が替わる毎に担任教員も替わるため、連絡調整の方法等については年度初めに確認していきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50	50	就学前に相談支援専門員主催の担当者会議に出席し、それまでの関係機関から情報を得ています	引き続き、担当者会議等を通して就学前の支援の様子等情報収集を行い、就学後の支援にも繋げていきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83.3	16.7	学校を卒業し、福祉サービス事業所等へ移行する場合は支援が引き継がれるように、必要な会議に出席をしたり、保護者の同意を頂いてそれまでの支援の情報提供を行っています	利用児や支援者のそれまでの取り組みがその後の生活にも活かしていけるよう家族や相談員の求めに応じて情報提供をしています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33.3	66.7	協議会や県等が主催する研修等があれば参加するようにしています	情報収集を行ったり必要性に応じてその機会を検討して行きます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	100		10数カ所の学校から校区を越えて通所していることもあり今後更なる交流が必要であれば検討します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0		引き続き参加をします
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	特に気になることは直接お話をする機会を設けています	引き続き、モニタリングや日々の連絡帳での情報共有を継続すると共に、日々の成長等を共に喜べるようになるべく多くの気付きを保護者と共有していきます
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66.7	33.3		事業所主催の懇親会などの機会を通して、家族に参加していただける研修を設けていきます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	契約の際に説明を必ずしています	契約時におこなっていますが、変更等は引き続き都度説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	子どもと保護者の双方から意向の聴き取りを行っています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ていきます
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0	保護者からの相談には真摯に対応をしています	子育ての困りごとやご家庭のご事情等、保護者からの相談は適宜担当者が対応しています。また希望に応じて事業所内相談を引き続き行います
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	66.7	33.3		年に1回は事業所主催の懇親会を開催していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	苦情は、定めに則って苦情受付担当者が窓口になり対応しています。また、内容は事業所内で情報共有し、再発防止に努めています	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100	0	四半期に1度の程度で事業所便りを保護者へお配りしています。また行事については詳細を文書にてご家族にご案内しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	「個人情報使用に関する同意書」に基づき取り扱っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	子どもの特性や情報内容に応じて、工夫をしています。保護者へはお忙しい方が多いので、口頭よりも後で確認を頂けるように必要に応じて文書等で情報を伝えるようにしています	今後も工夫や配慮をしていきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.3	66.7	ワークショップで外部の講師が来訪できる機会が年に数回設けられています	立地的に商業施設に囲まれた場所ではあるので近隣住人と関わる機会が少ないですが、防災訓練やその他行事等のご案内を検討していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83.3	16.7	いつでも職員が内容を確認出来るように各種マニュアルは書棚に設置している。また職員会議などで周知を図れるようにしている。	発信する情報を整理し年度初めにご家族へアナウンスをしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っています
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100	0		アセスメントの段階で事前に聴き取り、利用開始前までに全職員へ周知します
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83.3	16.7	保護者からの聞き取りにより対応しています。	アレルギー児童は現在在籍していませんが、居るときはおやつ提供の際には職員によるダブルチェックを行っています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	毎月、安全点検を実施し、不備があれば対策を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0		事業所懇親会などの機会も活用し周知していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	回覧形式で情報共有を行っています	再発防止の対策も含め、職員会議等で都度周知を図ります
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	外部より講師を招いて毎年行っています	引き続き虐待防止の自己評価チェックシートも取り組んでいきます
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0	身体拘束の検討が必要なケースについては、支援や関わりの中でまず落ち着ける方法はないか等、会議にて協議しています。必要と判断された場合は個別支援計画にて保護者に説明、同意を頂く手順を踏んでいます	事業所マニュアルなど定期的に全職員で確認を行っています